

別添 3

平成 18 年度厚生科学研究費補助金（医療技術評価総合 研究事業）  
総括研究報告書

医療の質の向上、効率化の為の先進的 I T 技術（ 16-医療-一般-029 ）  
に関する研究

分担研究者： 大江 洋介

研究要旨：インターネット技術を医療へ応用するには、まず医療機関がインターネットに接続可能でなければならない。都市部では当然となったブロードバンド・インターネット環境が、まだ夢の中のお伽噺でしかない地方があるのが現実である。ネットワークを医療機関の共通の基盤として利用するためには、このような情報格差の存在を認識する必要があると考える。

研究協力者  
東京医科歯科大学  
穴水 弘光

A. 研究目的

当初、本研究においては分担研究者の居住地である島根県と大阪・東京・札幌とを光ファイバーネットワークで結んで、次世代IPv6ネットワークの実証実験やIPsec/VPNによるセキュア通信実験、ネット会議、等々を計画していた。しかし、着任してはじめて地方のネットワークインフラの整備状況を知ったとき、上位層の研究より先にネットワーク物理層の調査を行わなければならないと実感した。

H16年度は、島根県大田市におけるイン

フラのサービス提供状況を、現地調査した。H17年度は、レセプトオンライン化のインフラにISDNが採用されたことを受けて、島根県内のISDNネットワークの提供状況を調査した。最終にあたるH18年度は、県医師会の会員名簿（住所録）を用いて、松江市・出雲市を除く16の郡市医師会について、①電話、②ファックス、③ISDN、④ADSL、⑤光ファイバーの各サービス提供状況を調べた。

今日では各種疾患の治療ガイドラインがインターネットで公開されているのが普通である。また、各学会も積極的にインターネットを利用し、抄録の登録などインターネット経由以外は受け付けないというのも、一般化している。

このガイドラインは都市居住者にとっては文字通り「公開」であるが、一部の地方居住者にとっては「見ることのできない情報」である。電話回線さえあればアナログモデムでダイヤルアップ接続してガイドラインの閲覧は可能であるが、実用的ではない。

「光ファイバーは無理でもADSLは可能であろう」と都市居住者は考えるが、「ADSLの利用できない地域」が地方にはまだ残されている。電話交換器の基地局がADSLに対応していないためである。幹線国道沿いの集落であっても、わずか1-2 kmの差でADSLが利用できたり出来なかつたりする。

ブロードバンドが自宅になくても、住民は働きに出た街でブロードバンドを利用できるが、医師はその地域の診療所で働く限りブロードバンドの恩恵を受けることが出来ない。このため、医師よりも患者のほうが最新の知識を知っているという逆転現象が起こっている。これは医学知識を利用する我々医師にとって、悲劇であると言わざるを得ない。

僻地における遠隔医療の例を挙げるまでもなく、医療におけるネットワークは、ともすれば地理的に不利な場所においても良質の医療を提供するツールとして期待されたものである。それが逆に地方における情

報格差を生じさせている。

ネットワークを全医療者・医療機関の共通の基盤として利用するのであれば、まずこのような情報格差の存在を正しく認識する必要があると考え、一連の調査を行なった。

## B:研究方法

分担研究者大江が居住していた島根県において、県医師会が作成する2006年度の会員名簿を用いて医療機関の所在地を調べ、それぞれの所在地における①電話、②ファックス、③ISDN、④ADSL、⑤光ファイバーの各サービス提供状況を調べた。

具体的には、インターネットのホームページにて、電話番号を入力すると提供可能なサービスを表示してくれるサイトを利用して、1つ1つの電話番号を入力して、各医療機関の所在地において可能なサービスの一覧を作成した。なお、松江市と出雲市は大都市であるので、松江市医師会と出雲市医師会は対象から除外し、16の郡市医師会を対象とした。平成の町村合併で行政域は変化したが、郡市医師会はほぼ変化がなかったもので、圏域はこれに従った。

医療機関のカウント方法は、事業所単位とした。保健行政的にも医療保険的にも、医療機関（病院・医院）の構成単位は事業

所である。病院の場合は病床数などの規模によらないし、診療所では本院と分院はそれぞれ別に扱われている。

(倫理面への配慮)

作業のために入手した住所等のデータは、目的外の使用を行わず、6ヶ月以内に消去した。

### C: 研究結果

島根県内(松江市・出雲市医師会を除く)には358の事業所(病院・医院)があった。島根県医師会の会員名簿には非会員が開設する事業所も掲載されている。老人保健施設などは数に含めなかった。電話回線のない事業所は14施設、Faxのない事業所は58施設であった。電話のない事業所はほとんどが「分院」であり、毎日診療している訳ではなかった。Faxのない事業所も、分院・出張所などであった。電話回線のある事業所はすべてISDNサービスが可能であった。電話回線のない事業所については、ADSL、光ファイバー回線のサービスを状況を調査することができなかった。

ADSL接続可能な医療機関は293事業所(81%)、光ファイバーの可能な医療機関は120(34%)であった。(表1)

郡市医師会	施設数	電話%	Fax%	ISDN%	ADSL%	光ファイバー%
松江						
八束	37	95	73	95	81	32
安来・能義	30	97	93	97	86	52
大田	21	90	86	90	81	0
仁多	12	100	75	100	67	0
飯石	16	100	88	100	75	0
出雲						
大田	41	95	85	95	76	68
瀬郷	6	100	100	100	100	0
邑智	21	100	95	100	62	0
江津	28	100	74	100	96	0
浜田	46	100	98	100	100	70
那賀	15	87	53	87	67	0
益田・美濃	53	91	81	91	79	56
鹿足	11	100	100	100	64	0
鳥取	14	100	84	100	100	0
島前	14	100	100	100	50	0
島大	1	100	100	100	100	100

表1 島根県内における、ネットワークインフラ

### D: 考察

まず、光ファイバー回線のサービス状況は34%であるが、実情は八束、安来・能義、大田、浜田、益田・美濃の5つの医師会の圏域に限られていた(松江、出雲を加えても7医師会)。また、赤十字病院や労災病院など地域住民にとっては有名であっても光ファイバーのサービスエリア外の病院が数多くある。

次に、ADSL回線のサービスは81%であり、かなり実用的なように見えるが、光ファイバー回線が未整備な地域においては、ほとんどがフレッツADSL・モアスペシャルというサービスのみ利用可能で、他のADSLは選択できない。また「ADSL速度と距離の関係について ※お申し込み後に実施するADSL適合検査結果によってはサービス提供エリア内でもADSLがご利用いただけない場合があります」という常套文が付されている。今般の調査では利用可能でも、実際には実

用でないという場合も含まれるので、割引いて考えなければならない。

ISDNは、電話のあるところでは100%利用可能だが、実効速度が64kbpsまででありADSL・光ファイバーに比して非常に低速である。また常時接続のためには、電話以外にもう1回線の契約が必要となるため、魅力が少ない。

光ファイバーやADSL回線の届かない医療機関には、長年にわたって地域住民に密着した医療を続け、学会や研修会などの自己研鑽が自由にできなかった医師が多い。本来なら、このような地域でこそIT技術が卒業後教育に生かされていくべきなのに、逆にいっそう取り残されていくような状況になっている。

## E、結論

インターネット技術を医療に応用するには、医療機関がインターネットに接続可能でなければならないが、今回の調査で情報インフラの整備が遅れていることが判った。

国民の医療の質を守るために、是非とも情報インフラの整備が必要である。特に僻地においては、インフラの整備は採算性が悪いため、市場原理ではなく行政主導での整備が必要と考えられた。

## F、健康危険情報

なし

## G研究発表

### 1. 論文発表

#### 1) 大江洋介

HIV/AIDS 患者情報シェアシステム  
—サンフランシスコの Reggie System,  
医療情報学, 24(2), pp 285-289, 2004

#### 2) 稲岡則子, 大江洋介, 喜多絃一

情報セキュリティ,  
医療情報 医学・情報処理技術編 (日本医療情報学会), 篠原出版社, pp 236-256,  
2006

### 2. 学会発表

特記事項なし

## H. 知的財産権の出願、登録状況

### 1. 特許取得：特記事項なし

### 2. 実用新案登録：特記事項なし

### 3. その他：特記事項なし

## 別紙 4

## 研究成果の刊行に関する一覧表（田中 主任研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Akina Suwa, Yui chiro Gomi, Hir oki Nogawa, Hir oshi Tanaka.	Objective Motion Pic ture Quality Assessm ent in Secured Realt ime Transmission Sys tem for Medical Appl ication.	CJKMI' 2005 P roceedings o f the Sevent h China-Japa n-Korea Joi nt Symposium on Medic al Informatics.	Vol. 2005.	pp. 69-72	2005
Yuichiro Gomi, Hiroki Nogawa, Michihiko Koeda , Hiroshi Tanak a.	Analysis of Secured E-mail Systems for E lectronic Health Rec ord.	CJKMI' 2005 P roceedings o f the Sevent h China-Japa n-Korea Joi nt Symposium on Medic al Informatics.	Vol. 2005.	pp. 19-23	2005

Kumiko Ohashi , Yuichiro Gomi, Hiroki Nogawa, Hiroshi Mizushima, Hiroshi Tanaka.	Development of Secured Medical Network with TCP2 for Telemedicine.	Connecting Medical Informatics and Bio-Informatics: Proceedings of MIE2005 - The XIXth International Congress of the European Federation for Medical Informatics.	Vol. 116/2005.	pp. 397-402.	2005
Hideaki Takata, Hiroki Nogawa, Hiroshi Nagata, Yuichiro Gomi, Hiroshi Tanaka.	IMPLEMENTATION OF MEDICAL DIAGNOISTIC SYSTEM BASED ON EPIDEMIOLOGICAL DATA.	CJK 2006, Cheju (Korea)	Vol. 2006.	pp. 129-131,	2006

## 研究成果の刊行に関する一覧表（村井 分担研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
橋本和樹 谷隆三郎 南 政樹 村井 純	インターネットトレーニングシステムの構築と評価	電子情報・通信学会	モバイル・マルチメディア通信研究会（MoMuC2004）	電子情報・通信学会	日本	2004	P43-48
湧川隆次 村井 純	アンワイヤード	インプレス		インプレス	日本	2005	
南 政樹 他	「もったいない」		創発する社会	日経BP社	日本	2006	第11章
水谷正慶 白畑 真 南 政樹 村井 純	Session Based IDSの設計と実装	電子情報・通信学会	論文誌B Volume J88-B No. 3	電子情報・通信学会	日本	2005	551-562

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年

## 研究成果の刊行に関する一覧表（辰巳 分担研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
大西浩文, 明石浩史, 戸倉一, 新見隆彦, 松本尚, 辰巳治之	次世代オペレーティングシステムSSS-PCの三次元画像再構築システムへの応用に関する検討	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2006	Vol. 12	36-40	2006
明石浩史, 戸倉一, 大西浩文, 西城一翼, 山口徳蔵, 中村正弘, 木村眞司, 相馬仁, 佐々木茂, 澤田いずみ, 今野美紀, 仙石泰仁, 片寄正樹, 一瀬信敏, 石埜正穂, 丸山知子, 今井浩三, 辰巳治之	札幌医科大学G Pプロジェクトにおけるe-learning的取り組み	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2006	12	61-67	2006



辰巳治之、新見隆彦、中村正弘、高橋正昇、明石浩史、戸倉一、馬場剛、林卓宏、遠藤俊明、斉藤豪、大西浩文、伊藤洋輔、浦信行、島本和明、村井純、南正樹、三谷博明、田中博	戦略的防衛医療構想の 第一歩:生体情報収集 による超予防医療実現 を目指して	Proceedings of NORTH Int ernet Sympos ium 2006	12	83-93	2006
辰巳治之	ユビキタス時代の医療 IT活用:ネットワーク による戦略的防衛医療 構想とは	Kodak VIEW	7	8-11	2006
辰巳治之、新見隆彦、二宮孝文、市川量一、菊池真、中村正弘、明石浩史、戸倉一	医療とIT(1)医療にお けるITの可能性-戦略 的防衛医療構想	札医通信	465	2-5	2006
明石浩史、戸倉一、中村正弘、高橋正昇、新見隆彦、辰巳治之	生活習慣病予防のため の高度IT利用によるリ アルタイム健康管理シ ステムの開発-情報薬 、ゼロクリックによる 戦略的防衛医療構想	プライマリケ ア関連学会連 合学術会議プ ログラム抄録 集		94	2006
森崎龍郎、杉澤憲、木村眞治、明石浩史、辰巳治之、戸倉一、大西幸代、佐々木暢彦、山本和利	インターネット会議シ ステムを用いた生涯教 育の試み	プライマリケ ア関連学会連 合学術会議プ ログラム抄録 集		105	2006
辰巳治之、明石浩史、戸倉一、中村正弘、高橋正昇、榊房子、新見隆彦、石田 朗、田中博、穴水弘光	戦略的防衛医療構想実 現に向けて-ユビキタ ス技術と情報薬の医療 応用	第2回ユビキ タス医療シン ポジウム抄録 集		57	2006
戸倉一、明石浩史、藤川賢、中村正弘、石田朗、新見隆彦、辰巳治之、田中博	ユビキタス医療実現の ためのインフラ技術の 開発	第2回ユビキ タス医療シン ポジウム抄録 集		67	2006
明石浩史、戸倉一、中村正弘、高橋正昇、榊房子、新見隆彦、石田朗、辰巳治之、田中博	情報薬とゼロクリック 指向ホームヘルスケア 機器によるユビキタス 健康管理システムの構 築	第2回ユビキ タス医療シン ポジウム抄録 集	68	68	2006

新見隆彦, 辰巳治之, 洞口克彦, 三浦光貴, 若狭敏樹, 石田朗, 明石浩史, 戸倉一, 土橋 朗, 中村正弘	医学・医療関連文書/文献情報に於けるコンテキスト指向技術の適用《形態素解析及びDB実装形態に係る調査・研究》	医療情報学	Vol. 26 (Suppl.)	pp. 741-744	2006
辰巳治之, 明石浩史, 戸倉一, 中村正弘, 新見隆彦, 二宮孝文, 市川量一, 菊池真, 馬場剛, 林卓宏, 遠藤俊明, 斉藤豪, 大西浩文, 伊藤洋輔, 買手順一, 浦信行, 島本和明	「情報薬」の開発：妊産婦の健康管理	医療情報学	Vol. 26 (Suppl.)	pp. 890-892	2006
明石浩史, 戸倉一, 森崎龍郎, 木村眞司, 大西幸代, 西城一翼, 中村正弘, 新見隆彦, 相馬 仁, 山本和利, 辰巳治之, 今井浩三, 佐藤昇志	地域医療支援型遠隔学習システムの基盤構築	医療情報学	26 (Suppl.)	1219-1221	2006
榊房子, 石田朗, 明石浩史, 戸倉一, 中村正弘, 新見隆彦, 高橋正昇, 大西浩文, 辰巳治之	「情報薬」の開発：高血圧対策としての食事療法	医療情報学	26 (Suppl.)	1224-1227	2006
森崎龍郎, 大西幸代, 江本従道, 明石浩史, 辰巳治之, 木村眞治, 山本和利	インターネット会議システムを用いた地域医療支援のための生涯教育「プライマリケアレクチャーシリーズ」	医療情報学	26 (Suppl.)	1215-1216	2006
戸倉一, 明石浩史, 新見隆彦, 榊房子, 石田朗, 西城一翼, 山口徳蔵, 西陰研治, 松本尚, 辰巳治之	次世代オペレーティングシステムSSS-PCによる三次元再構築システムの開発	医療情報学	26 (Suppl.)	206-207	2006
石田朗, 明石浩史, 戸倉一, 新見隆彦, 辰巳治之	「情報薬」の開発：ヘルスケア・システムの統合化の可能性と諸問題	医療情報学	26 (Suppl.)	299-300	2006

辰巳治之, 明石浩史, 二宮孝文, 太田秀造, 太田耕平	情報薬開発の基盤研究から応用まで	医療情報学	26 (Suppl. )	96-99	2006
新見隆彦, 辰巳治之, 明石浩史, 戸倉一, 石田朗, 榊房子, 中村正弘	情報薬開発基盤としての形態素解析	医療情報学	26 (Suppl. )	103-104	2006
戸倉一, 明石浩史, 藤川賢二, 中村正弘, 石田朗, 新見隆彦, 辰巳治之, 田中博	情報薬開発基盤としてのネットワークインフラの開発	医療情報学	26 (Suppl. )	106	2006
明石浩史, 戸倉一, 新見隆彦, 石田朗, 榊房子, 木村眞司, 森崎龍郎, 大西幸代, 相馬仁, 西陰研治, 中村正弘, 辰巳治之, 佐藤昇志	情報薬作成基盤としての遠隔レクチャーシステム	医療情報学	26 (Suppl. )	107	2006
石田朗, 明石浩史, 戸倉一, 新見隆彦, 榊房子, 中村正弘, 辰巳治之	情報薬作成のためのサーバの統合	医療情報学	26 (Suppl. )	108	2006
中村正弘, 明石浩史, 伊藤敬三, 渡部聡, 小海康夫, 辰巳治之	研究者にとっての情報薬-バイオリソースシステム	医療情報学	26 (Suppl. )	109	2006
戸倉一, 石田朗, 明石浩史, 新見隆彦, 大石憲且, 藤川賢治, 馬場聡, 中山正志, 林祥介, 高井昌彰, 辰巳治之	NORTH活動報告 地域及び医療ネットワークの問題解決型のために	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2007, ISSN1345-0247	13	8-16	2007
新見隆彦, 辰巳治之, 洞口克彦, 三浦光貴, 明石浩史, 戸倉一, 石田朗, 榊房子, 中村正弘	健康データ収集と分析の可能性	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2007 ISSN1345-0247	13	17-23	2007

榊房子、石田朗、明石浩史、戸倉一、中村正弘、新見隆彦、高橋正昇、大西浩文、辰巳治之	ネットワーク利用における生活習慣病克服へのトライアル：管理栄養士の立場から	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2007, ISSN1345-0247	13	24-35	2007
石田朗、明石浩史、戸倉一、新見隆彦、辰巳治之	ネットワークを活用したヘルスケアシステムの統合化	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2007, ISSN1345-0247	13	36-39	2007
明石浩史、戸倉一、相馬仁、森崎龍郎、大西幸代、木村眞司、中村正弘、新見隆彦、石田朗、榊房子、辰巳治之、今井浩三、佐藤昇志	医学教育におけるネットワークを活用したeラーニングの運用と効果分析	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2007, ISSN1345-0247	13	92-99	2007
辰巳治之、新見隆彦、中村正弘、高橋正昇、明石浩史、戸倉一、石田朗、榊房子、大石憲且、村井純、南政樹、三谷博明、木内貴弘、田中博	医療系の利用を目指した日米通信実験 - Virtual Global Networkの可能性-	Proceedings of NORTH Internet Symposium 2007, ISSN1345-0247	13	101-115	2007

## 研究成果の刊行に関する一覧表（秋山 分担研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
秋山昌範	リスクマネジメントのための医療技術	開原成允	医療情報管理者講座テキスト【第1版】	平成16年度「医療情報管理者育成のためのモデルプログラム開発事業」モデルシステム開発委員会	東京	2005	136-146
秋山昌範	医療行為発生時点情報管理	橋本信也	知っておくべき新しい診療理念	日本医師会	東京	2005	80-81
秋山昌範	医療現場におけるIT化の現状と展望～バーコードとリアルタイム情報処理による医療プロセス管理～	首藤絢一	ジャピックジャーナルNo. 3	日本医薬情報センター	東京	2005	67-77

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
秋山昌範	将来の病院医療システムの展望	病理と臨床	24(4)	346-353	2006
秋山昌範	医療の質とアカウントビリティ	日本医事新報	4311	1	2006
秋山昌範	医療行為発生時点管理システム（POAS：Point of Act System）を用いた医療機能評価－正確な原価計算に基づく費用算定－	日本皮膚科学会白書第103回日本皮膚科学会総会記念改定版	115(11)	1583-1590	2005
秋山昌範	医療におけるトレーサビリティについて－バーコード・電子タグ・リアルタイム（前）	クリニカルプラクティス	24(5)	587-590	2005
秋山昌範	医療におけるトレーサビリティについて－バーコード・電子タグ・リアルタイム（後）	クリニカルプラクティス	24(6)	692-695	2005

秋山昌範	物品・物量管理システムの最新動向 トレーサビリティと物品・物流管理システム	新医療	32(7)	120-124	2005
秋山昌範	不正行為を調査するデジタル・フォレンジック医療分野における重要性	COMPUTER & NETWORK LAN	23(3)	27-32	2005
秋山昌範	医療機能評価とIT (Information Technology: 情報技術) ~医療の質と費用の算定~	月刊基金	46(1)	5-7	2005
秋山昌範	秋山昌範氏に聞く: 新管理システム"POAS"の導入効果、医療行為情報を6W1Hで収集すれば経営改善やリスクマネジメント文責などに活用できる。	M-IT SCORPE	No. 6	1-3	2005
秋山昌範	POASを用いた機能管理	情報処理	46(10)	1183	2005
秋山昌範	特集1 "原価管理"の最前線 Part1先進的"原価計算"の手法。POASによる病院原価管理	保険診療	60(11)	7-10	2005
秋山昌範	BRPの必要性とERPへの展開~少子化・高齢化社会へのアプローチ~	病院設備	47(1)	19-25	2005
秋山昌範	物流システム改革による電子カルテシステムの経済的効果-ゼロ在庫を目指すためのユビキタス情報システム-	病院設備	48(2)	31-35	2005
秋山昌範	医療過誤を防ぐための病院情報システム	行政&ADP	41(12)	9-15	2005
秋山昌範	患者のリスク管理-医薬品卸の果たす役割-	卸薬業	29(10)	12-19	2005
秋山昌範	情報通信で高度化する医療と病院の姿	情報通信ジャーナル	22(3)	5-9	2004
秋山昌範	医療現場におけるトレーサビリティと事故防止術	COMPUTER & NETWORK LAN	22(11)	78-87	2004
秋山昌範	総特集 社会資本としての電子カルテ部門システムの運用 電子カルテと医療物流管理	新医療	31(7)	89-93	2004

## 研究成果の刊行に関する一覧表（野川 分担研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
K. Rikitake, H. Nogawa, K. Nakao and S. Shimojo	A Simulation-based UDP Traffic Analysis of DNSSEC	IEICE Technical Report ISEC2005-22	Vol. 105, No. 33	pp. 97-104	2005
山肩大祐、 長谷川英重、 永田宏、 野川裕記、 田中博	医療のIT化推進状況についての国際比較—地域連携における医療情報交換—	医療情報学	Vol. 26 (Suppl.)	pp. 220	2006

## 研究成果の刊行に関する一覧表（永田 分担研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
永田宏	医療情報教育のためのe-learningシステムの開発	医療情報学24回連合大会論文集		1220-1221	2004
木村美恵子, 武田隆久, 湯山洋一, 藤田裕子, 中村素典, 中川晋一, 木村朝子, 永田宏, 伊藤篤, 浅見徹	画像入力型簡易栄養計算システムを用いたビタミン栄養指導への活用	ビタミン	79 (4)	254	2005
福島秀顕, 坂本純子, 伊藤篤, 星野忠士, 前村安文, 渡辺裕, 永田宏, 林潤一	携帯電話を活用した健診データ閲覧システムの開発	医療情報学24回連合大会論文集		476-477	2004
高田英明, 永田宏, 野川裕記, 田中博	疾患頻度情報に基づく診断支援システム	第26回医療情報学連合大会予行集			2006
永田宏, 土橋康成, 東福寺幾夫, 田中博	病理検査ニーズの増加とテレパソロジーの普及の関係	医療情報学24回連合大会論文集		502-503	2004



木村美恵子, 藤田裕子, 湯山洋一, 川西智也, 中村素典, 中川晋一, 伊藤篤, 永田宏, 木村朝子, 武田隆久, 渡辺裕, 浅見徹	ASP型栄養計算システムの開発	医療情報学24回連合大会論文集		472-473	2004
伊藤 篤, 齊藤雅弘, 大塚 拓, 福島 秀顕, 永田宏, 木村 美恵子, 渡辺 裕	遠隔健康指導のためのインターネット多地点会議システムの開発	ヒューマンインタフェースシンポジウム2004論文集			2004
福島 秀顕, 坂本純子, 伊藤 篤, 星野 忠士, 永田宏, 濱井 龍明, 前村 安文, 林潤一, 渡辺 裕	携帯電話を用いた健診結果閲覧システムの開発	ヒューマンインタフェースシンポジウム2004論文集			2004

## 研究成果の刊行に関する一覧表（楠岡 分担研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
松岡雅己、秋山美紀、楠岡英雄、武田裕	電子ネットワークでの病診連携体験患者の満足度調査－OCHISにおけるITを活用した患者サービスの向上についての検証	IT VISION	No. 5	pp. 46-49	2004
楠岡英雄、是恒之宏、東堂龍平、岡垣篤彦、内藤正子、山田泰子、田中良樹、古田直美、谷口克巳	看護電子カルテ導入に向けてのユーザーインターフェースに関する検討	医療情報学	Vol. 25 (Suppl.)	pp. 377-378	2005

## 研究成果の刊行に関する一覧表（大江 分担研究者分）

## 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
大江洋介	情報セキュリティ	日本医療情報学会医療情報技師育成部会	医療情報 医学・情報処理技術編	篠原出版社	東京	2004	223-249
井上通敏 大江洋介	医学医療総論 医学・医療の基本と社会における役割	日本医療情報学会医療情報技師育成部会	医療情報 医学・医療編	篠原出版社	東京	2004	3-5
稲岡則子 大江洋介 喜多絃一	情報セキュリティ	日本医療情報学会医療情報技師育成部会	医療情報 医学・情報処理技術編	篠原出版社	東京	2006	236-256

## 雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yosuke OOE, Shigeyuki TABUS E, Takehiko AKA NO	Patients' Attitude toward Dispensing Pharmacies: Questionnaire Survey Conducted August 15.	Japan Hospitals (The Journal of Japan Hospital Association)	23	40-43	2004
大江洋介	HIV/AIDS患者情報シェアシステム—サンフランシスコのReggie System	医療情報学	24	285-28	2004
大江洋介	要介護認定の所要日数に及ぼす主治医意見書の影響—2年間の調査	日本老年医学会雑誌	42	335-339	2005